

令和4年度 教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価に関する報告書
(令和3年度事業対象)



学習者用端末を活用し授業を行う様子（鴻巣北中学校）

鴻 巣 市 教 育 委 員 会

目 次

I	はじめに	1
II	点検・評価の基本方針	1
III	「第6次鴻巣市総合振興計画」の政策3 教育・文化に関する政策 ～子どもから大人まで、生涯にわたる学びと文化が根付づく まちづくり～における施策と指標の関係	1
IV	点検・評価の結果	4
	◎施策1：学校教育の充実	4
	◎施策2：市民文化・生涯学習の充実	20
	◎施策3：スポーツの振興	27
	◎施策4：人権尊重の推進	35
	◎総括	39
V	結びに	40
VI	用語解説	41

I はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和3年度に鴻巣市教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自ら点検及び評価を行った結果についてまとめたものです。

II 点検・評価の基本方針

1 目的

平成19年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検・評価を行い、その結果を議会に提出するとともに広く市民に公表することになりました。

これは、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検・評価の対象及び方法

本市の教育行政の主要施策については、市政運営の基本となる「第6次鴻巣市総合振興計画」に掲げられています。総合振興計画は、「人口減少の抑制と、人口減少社会への適応（準備）」を見据えた「持続可能な都市」の実現を目指し、合併後の街づくりをさらに発展させるため策定され、6つの政策、28の施策、101の基本事業からなり、それぞれ具体的な成果指標を設定し、評価・見直し・公表を行っていくという行政評価の手法を取り入れています。

したがって、この振興計画に掲げられている教育委員会の施策を対象とし、その指標の達成状況の把握を参考にしながら、点検・評価を実施しました。

また、教育に関し学識経験を有する方から、各施策の取組に関して、ご意見をいただきました。

III 「第6次鴻巣市総合振興計画」の政策3 教育文化に関する政策 ～子どもから大人まで、生涯にわたる学びと文化が根付くまちづくり～ における施策と指標の関係

今回の点検・評価に当たっては、総合振興計画の政策3における教育委員会各課と施設の4施策、15の基本事業を基に実施しました。15の基本事業には目的達成度を示す指標として36の成果指標があり、施策ごとの総合評価という観点で点検・評価を行いました。

点検・評価を行った施策と、それぞれの基本事業・成果指標の関係は次のとおりです。

教育委員会が取り組んでいる4つの施策と15の基本事業

施 策 名	基 本 事 業 名	基 本 事 業 の 成 果 指 標	頁
1 学校教育の充実 主管課：学校支援課	①確かな学力の向上 (学校支援課)	・学習に対して意欲をもっている児童生徒の割合 ・埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合（小学校・中学校）	5
	②心の教育の推進 (学校支援課)	・規律ある態度の児童生徒の割合 ・不登校児童生徒の割合（小学校・中学校）	7
	③健康・体力向上の推進 (学校支援課)	・健康的な生活を送っている児童生徒の割合（毎日朝食を食べる、1週間のうち1時間以上運動をすると回答） ・新体力テストの5段階絶対評価で上位3ランク(A,B,C)の児童生徒の割合	9
	④学習環境の整備 (教育総務課)	・施設維持管理上の不具合による教育支障件数	11
	⑤小・中学校適正規模・適正配置の推進（教育総務課）	・標準規模（12学級以上）小学校の割合	11
	⑥学校・家庭・地域の連携と教育力の向上 (学校支援課)	・学校・家庭・地域が連携していると思う保護者の割合 ・学校応援団を含めた学校ボランティア数の児童生徒数に対する割合 ・研修や研究会での成果を教育活動に積極的に反映させていると回答した学校の割合	12
2 市民文化・生涯学習の充実 主管課：生涯学習課	①生涯学習機会の充実 (生涯学習課)	・生涯学習機会に関する満足度 ・生涯学習講座参加者数 ・生涯学習の場・施設が充足していると思う市民の割合	21
	②芸術文化の振興 (生涯学習課)	・芸術・文化に親しんでいる市民の割合	22
	③伝統文化の保護・継承 (生涯学習課)	・市内の指定文化財を知っている市民の割合	22
	④生涯学習施設の利用促進 (生涯学習課)	・市内9公民館利用者数 ・市内3図書館来館者数 ・市内2文化施設の年間利用者数（クレアこうのす、こうのすシネマ） ・生涯学習施設の不具合による利用支障件数	23

教育委員会が取り組んでいる4つの施策と15の基本事業

施策名	基本事業名	基本事業の成果指標	頁
3 スポーツの振興 主管課：スポーツ課	①スポーツをする機会の提供 (スポーツ課)	・スポーツイベント・教室参加者数 ・スポーツイベントの機会が十分だと思う市民の割合	28
	②スポーツ施設の整備と有効活用 (スポーツ課)	・スポーツ施設の年間のべ利用者数 ・スポーツの場・施設の充足満足度 ・スポーツ施設維持管理の不具合による利用支障件数	29
	③指導者・団体の育成と活用 (スポーツ課)	・スポーツ指導者登録数 ・総合型地域スポーツクラブ参加者数 ・スポーツ団体登録者数	31
4 人権尊重の推進 主管課：生涯学習課	①社会人権教育の推進 (生涯学習課)	・人権を侵害されたと思う市民の割合	36
	②学校人権教育の推進 (学校支援課)	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる児童生徒の割合	36

IV 点検・評価の結果

施 策	1 学校教育の充実
------------	------------------

施策の対象	児童生徒
--------------	------

施策の目指す姿	豊かな心と創造性をもち、はつらつとした学校生活を送っています。
----------------	---------------------------------

成果指標	単位	初期値	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3	成果状況
		(H27)							目標値	
学校での生活に満足していると回答している児童生徒の割合【学校アンケート】 (学校支援課)	%	90.8	90.1	92.7	92.9	91.9	91.4	92.5	93.5	○
	3年度の主な取組 ・少人数指導加配教員(または小学校専科指導加配)の配置(全小・中学校)による習熟度別学習等の実施 ・いきいき先生(全小・中学校)、特別支援教育指導員(特別支援学級設置校)、日本語指導員の配置による個に応じた指導の実施 ・学力向上支援員の配置による学力層に応じた指導や支援の充実(H29年度より配置) ・市教委委嘱による学校課題研究の推進(2年間) ・学校支援課・南部教育事務所合同訪問による各校の教育課程及び教育指導への指導・助言 ・特色ある学校づくり事業、学校花いっぱい運動事業等による豊かな体験活動の実施 ・体力向上推進委員会を中心とした児童生徒の体力向上や基本的な生活習慣を確立する取組 ・各学校応援団の活動推進 ・「のすっ子宣言」の宣言に即した取組 ・教育支援センターを中心とした、各学校、さわやか相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、専門教育相談員等と連携した教育相談体制の確立 ・特別支援教育の推進									
成果状況/達成度評価 埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査項目の「学級での生活は楽しかったですか」という質問に回答した児童生徒の割合を指標としています。本市の達成状況は、92.5%(小学校92.2%、中学校92.7%)であり、基準値(90.8%)を1.7ポイント上回りました。各学校が家庭や地域と連携して、児童生徒のニーズに応じたきめ細かな指導を行っていたこと、また各学校の教育課程のもとに、特色ある学校づくりの推進に努めていたことなどが成果の要因として考えられます。										

<p>1 「確かな学力の向上」については、引き続き個に応じたきめ細かな指導や教育環境の整備を進めるとともに、教員の資質向上を図っていく。また、各校における課題解決に向けた取組の中で成果が見られたものを紹介するとともに、ICTの効果的な活用を促していく。</p> <p>2 「心の教育の推進」については、埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査項目の一部を指標とし、「規律ある態度の育成」としたが、依然として高い数値を保っている。今後も、策定した「のすっ子宣言」の内容を踏まえ、各学校や家庭での規範意識の高揚を図る取組を進めるとともに、心の教育の推進や教育相談の充実により不登校の減少やいじめの根絶を目指した取組を進めていく。</p> <p>3 「健康・体力向上の推進」については、児童生徒の生活習慣や体力ともに比較的高い数値を保っているが、課題もみられる。体力向上推進委員会を中心に、児童生徒の体力の現状や課題を明確にし、各学校で課題解決に向けた取組を推進していく。また、家庭とも連携を図り、基本的な生活習慣の徹底や体力の向上を図っていく。</p> <p>4 「学校・家庭・地域との連携」については、平成23年度に市内全ての小学校と中学校で学校応援団が組織され、各種教育活動の充実が図られている。今般のコロナ禍において活動に制限がかかる状況であるが、保護者や地域の方々の協力をいただき、教育活動の充実や子どもたちの安全の確保に努めていく。</p> <p>5 「教育相談体制」については、多様化する相談内容について、相談員を充実させ、今後も教育支援センターと学校、関係機関等との連携を図りながら対応をしていく。</p> <p>6 「特別支援教育の充実」については、児童生徒の教育的ニーズに応じた教育を推進していくために、環境の整備や教職員研修をさらに充実させていく。</p>
--

基本事業	1 確かな学力の向上
------	------------

基本事業の対象	児童生徒
---------	------

基本事業の目指す姿	基礎基本の徹底が図られ、確かな学力が定着しています。
-----------	----------------------------

成果指標	単位	初期値	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3	成果
		(H27)							目標値	
学習に対して意欲をもっている児童の割合 【学校アンケート】 (学校支援課)	%	87.0	83.7	84.7	84.7	84.1	81.6	80.5	91.0	×
	3年度の主な取組 ・学力向上支援員の配置による学力層に応じた指導や支援の充実 ・少人数指導加配教員(全小学校)の配置による習熟度別学習等の実施 ・いきいき先生(全小学校)、特別支援教育指導員(特別支援学級設置小学校)、日本語指導員の配置による個に応じた指導の実施および大学生学習ボランティア、学校応援団等による学習補助 ・指導委員・研究委員による授業研究(指導形態・指導方法等の実践研究) ・市教委等の委嘱による学校課題研究(2年間) ・鴻巣市教育委員会学校支援課・南部教育事務所合同訪問による各校の教育課程及び教育指導への指導・助言 ・初任者研修、若手教員研修(3年目教員研修)、転入教員研修等の実施 ・家庭学習や小テストに使用できるプリントデータベースの作成 成果状況/達成度評価 埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査項目の、勉強する理由として「勉強することが楽しい、好き」「将来の役に立つ」と回答した児童の割合を指標としています。学習に対して意欲をもっている児童の割合は、前年度と比較して1.1ポイント低い値となりました。コロナ禍において、通常通りの学校生活が送れない中ではありましたが、各校においては新型コロナウイルス感染症対策等マニュアルに基づき、安心・安全な学校運営が行えました。各学校で、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善を図っているものの、学年が上がるにつれて、学習内容が抽象化・高度化することが未達成要因の一つとして考えられます。									

成果指標	単位	初期値	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3	成果
		(H27)							目標値	
学習に対して意欲をもっている生徒の割合 【学校アンケート】 (学校支援課)	%	69.5	71.0	72.7	72.3	72.7	71.4	70.5	77.0	○
	3年度の主な取組 ・少人数指導加配教員(または中学校専科指導加配)の配置(全中学校)による習熟度別学習等の実施 ・いきいき先生(全中学校)、特別支援教育指導員(全中学校)、日本語指導員の配置による個に応じた指導の実施および大学生学習ボランティア、学校応援団等による学習補助 ・指導委員・研究委員による授業研究(指導形態・指導方法等の実践研究) ・市教委等の委嘱による学校課題研究(2年間) ・鴻巣市教育委員会学校支援課・南部教育事務所合同訪問による各校の教育課程及び教育指導への指導・助言 ・初任者研修、若手教員研修(3年目教員研修)、転入教員研修等の実施 ・家庭学習や小テストに使用できるプリントデータベースの作成 成果状況/達成度評価 埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査項目の、勉強する理由として「勉強することが楽しい、好き」「将来の役に立つ」と回答した生徒の割合を指標としています。学習に対して意欲をもっている生徒の割合は、前年度と比較して0.9ポイント低い値となりました。各学校で主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善を図っているものの、学習内容がより抽象化・高度化することがその要因の一つとして考えられます。									

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合(小学校)	%	41.2	47.4	46.5	46.5	43.9	57.9	45.6	85.1	○
	(学校支援課)	3年度の主な取組 ・学力向上支援員の配置による学力層に応じた指導や支援の充実 ・少人数指導加配教員(又は小学校専科指導加配)配置(全校)による習熟度別学習等の実施 ・いきいき先生の配置による個に応じた指導や支援の充実 ・教科指導委員・研究委員による授業研究の実践研究 ・市教委等の委嘱による学校課題研究の取組(2年間) ・学校支援課・南部教育事務所合同訪問による、各校の取組に対しての指導・助言 ・家庭学習や小テストに使用できるプリントデータベースの作成 ・学力向上のためのリーフレット作成、全教職員への配付								
		成果状況/達成度評価 埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合(小学校)は、初期値(41.2%)と比較して、4.4ポイント上昇しました。各学校で、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善を図っていると同時に、いきいき先生や学力向上支援の配置により、各学校の実態に応じたきめ細かい指導が成果の要因の一つとして考えられます。								

<参考資料> 令和3年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果

鴻巣市と埼玉県の平均正答率比較						
	小学校4年生		小学校5年生		小学校6年生	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
鴻巣市	57.2	70.8	56.5	62.0	58.8	61.0
埼玉県	58.0	69.9	56.7	61.6	58.6	60.9

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合(中学校)	%	53.1	46.9	53.1	46.9	46.9	51.6	46.9	87.5	×
	(学校支援課)	3年度の主な取組 ・少人数指導加配教員(または中学校専科指導加配)の配置(全中学校)による習熟度別学習等の実施 ・いきいき先生の配置による個に応じた指導や支援の充実 ・教科指導委員・研究委員による授業研究の実践研究 ・市教委等の委嘱による学校課題研究の取組(2年間) ・学校支援課・南部教育事務所合同訪問による、各校の取組に対しての指導・助言 ・家庭学習や小テストに使用できるプリントデータベースの作成								
		成果状況/達成度評価 埼玉県学力・学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合(中学校)は、初期値(53.1%)と比較して6.2ポイント低い値となりました。各学校において調査結果を活用したり、主体的・対話的で深い学びの視点での効果的な取組を共有したりすることで学習指導の見直し・改善を行っていますが、今後も生徒の実態に応じたさらなる取組の充実を図っていきます。								

<参考資料> 令和3年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果

鴻巣市と埼玉県の平均正答率比較								
	中学校1年生		中学校2年生			中学校3年生		
	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
鴻巣市	61.7	61.3	62.9	55.3	62.1	69.0	58.0	59.2
埼玉県	61.3	59.4	63.1	59.1	62.6	68.1	58.1	60.0

基本事業	2 心の教育の推進
-------------	------------------

基本事業の対象	児童生徒
----------------	-------------

基本事業の目指す姿	豊かな心が生まれ、よりよい人間関係が築かれています。
------------------	-----------------------------------

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
規律ある態度の児童の割合 【学校アンケート】 (学校支援課)	%	92.1	90.5	90.4	88.3	89.9	87.9	86.9	93.0	×
	3年度の主な取組 ・鴻巣市教育委員会における生徒指導委員会で「規律ある態度」の取組に係る情報交換 ・保護者向け広報誌「かけはし」の発行による家庭と連携した生徒指導(年2回) ・児童の発達の段階に応じた計画的・継続的な指導と評価の工夫 ・各学校における学習規律、基本的な生活習慣の確立の推進 成果状況/達成度評価 学校ごとに「授業の約束」等の提示や実態把握の調査等、日々の教育活動においてその育成に努めておりますが、初期値(92.1%)を5.2ポイント下回っております。しかし、個別の項目で「登校時刻や授業開始時刻を守ること」の児童の自己評価は90%を上回っています。その他においても、ほとんどの質問項目において80%を超えています。学校の日々の教育活動で規律ある態度の育成としては、一定の成果が出ているものと考えられます。									

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
規律ある態度の生徒の割合 【学校アンケート】 (学校支援課)	%	92.9	89.0	89.4	89.4	90.2	90.1	89.0	94.0	×
	3年度の主な取組 ・鴻巣市教育委員会における生徒指導委員会で「規律ある態度」の取組に係る情報交換 ・保護者向け広報誌「かけはし」の発行による家庭と連携した生徒指導(年2回) ・生徒の発達の段階に応じた計画的・継続的な指導と評価の工夫 ・各学校における学習規律、基本的な生活習慣の確立の推進 成果状況/達成度評価 学校ごとに「授業の約束」等の提示や実態把握の調査等、日々の教育活動においてその育成に努めておりますが、初期値(92.9%)を3.9ポイント下回っております。しかし、個別の項目で「登校時刻や授業開始時刻を守ること」「丁寧な言葉遣い」「学習の準備」「集団の場での態度」の生徒の自己評価は90%を上回っています。その他においても、ほとんどの質問項目において80%を超えています。学校の日々の教育活動で規律ある態度の育成としては、一定の成果が出ているものと考えられます。									

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
不登校児童の割合 (小学校)	%	0.36	0.24	0.33	0.45	0.60	0.50	0.64	0.22	×
	3年度の主な取組 ・専門教育相談員を中心とした不登校対応 ・学校と教育支援センターの連携 ・適応指導教室による学校復帰及び社会的自立支援 ・各学校の教育相談主任及び各相談員の情報交換と研修の場としての担当者会議の開催 ・市内全中学校に配置しているさわやか相談員との連携 ・市内全小学校に県スクールカウンセラーの配置 ・スクールソーシャルワーカーを活用した児童や保護者の支援と学校や関係機関との連携 ・全児童の学習者用端末に「このすきずページ」(相談サイト)及び「こころの体温計」(ストレスチェック)のアプリをインストール									
	成果状況/達成度評価 不登校児童の割合は、初期値(0.36%)を上回り増加しています。令和3年度は長引くコロナウイルス感染症拡大により学級・学年閉鎖など登校不安が広がる状況の中、各学校の教育相談担当者や教育支援センターの相談員等による登校支援により、登校が図られたケースもありましたが、安定した登校までには至らない状況が見受けられました。 今後も学校の組織的な対応(管理職・担任・養護教諭・さわやか相談員・スクールカウンセラー等)、教育支援センター等での相談体制や適応指導教室の充実等をより図っていきます。									

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
不登校生徒の割合 (中学校)	%	2.92	2.41	2.65	3.22	3.53	3.96	5.47	2.10	×
	3年度の主な取組 ・専門教育相談員を中心とした不登校対策 ・学校と教育支援センターの連携 ・適応指導教室による学校復帰及び社会的自立支援 ・各学校の教育相談主任及び各相談員の情報交換と研修の場としての担当者会議の開催 ・市内全中学校に、さわやか相談員、県スクールカウンセラーの配置 ・スクールソーシャルワーカーを活用した生徒や保護者の支援と学校や関係機関との連携 ・全生徒の学習者用端末に「このすきずページ(相談サイト)」及び「こころの体温計(ストレスチェック)」のアプリをインストール									
	成果状況/達成度評価 不登校生徒の割合は、初期値(2.92%)を上回り、小学校と比べてもとても高い割合になっています。 令和3年度はコロナウイルス感染症拡大により学級・学年閉鎖など登校不安が広がる状況の中、各学校の教育相談担当者や教育支援センターの相談員等による登校支援により、登校が図られたケースもありましたが、安定した登校までには至らない状況が見受けられました。 今後も学校の組織的な対応(管理職・担任・養護教諭・さわやか相談員・スクールカウンセラー等)、小中間の連携の強化、教育支援センター等での相談体制や適応指導教室の充実等をより図っていきます。									

基本事業	3 健康・体力向上の推進
-------------	---------------------

基本事業の対象	児童生徒
----------------	------

基本事業の目指す姿	運動に親しみ、健康な生活を送っています。
------------------	----------------------

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
健康的な生活を送っている児童生徒の割合 (毎日朝食を食べると回答) 【学校アンケート】	%	97.5	96.1	98.0	97.1	98.1	96.4	97.3	98.0	△
	3年度の主な取組 ・市体力向上推進委員会作成の保護者向け広報誌「ホップ・ステップ・ジャンプ」で、家庭でできる体力向上、免疫力を高める食事、食事と基本的な生活習慣の大切さについて啓発 ・各校の学校保健委員会等における健康な生活についての啓発									
(学校支援課)	成果状況/達成度評価 本市においては、朝食を「①必ず食べる」「②1週間に2～3回食べないことがある」児童生徒の割合は、昨年度(96.4%)を上回り、目標値まであと0.7%と向上しました。要因として、市体力向上推進委員会の取組である保護者向け広報誌や、各学校の学校保健委員会等における啓発の効果が挙げられます。引き続き、各学校での食育の充実が求められます。									

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
健康的な生活を送っている児童生徒の割合 (1週間のうち1時間以上運動をすると回答) 【学校アンケート】	%	79.8	83.9	88.5	90.6	88.8	80.1	88.0	85.0	○
	3年度の主な取組 ・市体力向上推進委員会における各校の実態把握と取組に対する指導・助言 ・学校訪問、学校課題研究に係る授業研究会等を通して、運動量の確保、技能の習得、指導法等について指導・助言 ・体育実技講習会、体育授業研究会、体育研修会等への参加の促進 ・「小学校体育に関する調査」及び「中学校体育に関する調査」をもとに、各校の体育授業、体育的活動の取組に対する指導・助言									
(学校支援課)	成果状況/達成度評価 体育の授業時間以外に、1週間のうち外遊びや運動・スポーツを1時間以上する日数のうち、「①ほとんど毎日する」「②ときどきする(週1～2日)」の割合は、昨年度を7.9%上回りました。また、目標値(85.0%)も上回っています。「④まったくしない」の割合が依然として高い傾向にあります。運動する子とそうでない子、運動好きな子とそうでない子の二極化の傾向が見られます。要因として、新型コロナウイルス感染症防止や熱中症対策により、運動をする機会が減少していることがあげられます。									

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
新体力テストの5段階 絶対評価で上位3ラン ク(A、B、C)の児童の 割合	%	84.9	85.9	85.2	85.8	83.5	未実施	77.7	88.0	×
	3年度の主な取組 ・市体力向上推進委員会における各校の実態把握と取組に対する指導・助言 ・学校訪問等を通して、運動量の確保、技能の習得、指導法等について指導・助言 ・各種実技講習会、授業研究会等への参加の促進 ・小学校体育に関する調査をもとに、各校の体育授業、体育的活動の取組に対する指導・助言									
	成果状況/達成度評価 令和3年度の上位3ランク(A、B、C)の児童の割合は、目標値より10%以上、初期値(84.9%)よりも7%以上低下しました。要因として、新型コロナウイルス感染症拡大による令和2年度の休校や、体力テストの未実施が挙げられます。令和4年度は、鴻巣市体力向上推進委員会委嘱の体力づくり授業研究会の開催・授業公開や学校訪問、各種実技講習会により、市内の教員の体育授業の質を高めていきます。									
(学校支援課)										

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
新体力テストの5段階 絶対評価で上位3ラン ク(A、B、C)の生徒の 割合	%	83.5	83.9	86.5	86.9	84.8	未実施	83.5	86.0	△
	3年度の主な取組 ・市体力向上推進委員会における各校の実態把握と取組に対する指導・助言 ・学校訪問等を通して、運動量の確保、技能の習得、指導法等について指導・助言 ・各種実技講習会、授業研究会等への参加の促進 ・中学校体育に関する調査をもとに、各校の体育授業、体育的活動の取組に対する指導・助言									
	成果状況/達成度評価 令和3年度の上位3ランク(A、B、C)の生徒の割合は、目標値を2.5%下回りましたが、初期値(83.5%)の水準を維持することができました。引き続き、鴻巣市体力向上推進委員会委嘱の体力づくり授業研究会の開催・授業公開や学校訪問、各種実技講習会により、市内の教員の体育授業の質を高めていきます。									
(学校支援課)										

基本事業	4 学習環境の整備
-------------	------------------

基本事業の対象	児童生徒
----------------	-------------

基本事業の目指す姿	安全・快適な学校施設で学ぶことができます。
------------------	------------------------------

成果指標	単位	初期値	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3	成果
		(H27)							目標値	
施設維持管理上の不具合による教育支障件数 (教育総務課)	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3年度の主な取組 小学校:馬室小学校⑩棟屋上防水等改修工事、赤見台第一小学校給水施設等改修工事、鴻巣東小学校②-1棟トイレ改修工事、鴻巣北小学校⑤棟トイレ等改修工事を実施しました。また、田間宮小学校⑨棟トイレ改修工事について設計業務を委託し、完了しました。 中学校:鴻巣西中学校給水施設等改修工事、吹上中学校⑧棟消火配管等改修工事を実施しました。また、鴻巣中学校⑭棟、⑳棟屋上防水等改修工事、鴻巣北中学校①棟屋上防水改修工事、吹上北中学校①棟トイレ改修工事について設計業務を委託し、完了しました。									
	成果状況/達成度評価 安全で快適な施設管理上での不具合については、初期値同様の0件でした。成果の要因としては、雨漏り改修・トイレ改修工事年次計画表に則り、施設改修に努めているものと考えます。									

基本事業	5 小・中学校適正規模・適正配置の推進
-------------	----------------------------

基本事業の対象	学校、児童生徒
----------------	----------------

基本事業の目指す姿	より良い教育環境を創出するために学校の適正配置や通学区域の変更を行います。
------------------	--

成果指標	単位	初期値	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3	成果
		(H27)							目標値	
標準規模(12学級以上)小学校の割合 (教育総務課)	%	47.4	47.4	47.4	52.6	52.6	57.9	57.9	63.2	0
	3年度の主な取組 適正配置等審議会を開催し、令和10年度を今後の本市としての一つの基準とした市内小・中学校の適正規模・適正配置の計画について推進してよいか諮問をしました。 常光小学校を令和6年度から9年度の間に鴻巣中央小学校と統合、小谷小学校を令和6年度から9年度の間に吹上小学校と統合、大芦小学校を令和6年度から令和9年度の間に吹上小学校と統合、屈巢・広田・共和の川里3小学校は令和10年度を目安に、川里中学校を含めた小中一貫校又は義務教育学校として一つに統合するといった再編計画となっております。 令和4年度に引き続き審議をした上で、答申をいただく予定です。									
	成果状況/達成度評価 令和3年度末に笠原小学校が閉校となり、鴻巣中央小学校と統合となりましたが、実績値としては令和4年度に反映されるものです。									

基本事業	6 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
-------------	-----------------------------

基本事業の対象	学校、家庭、地域
----------------	-----------------

基本事業の目指す姿	学校、家庭、地域が相互に協力・成長して、児童生徒を育む環境を構築しています。
------------------	---

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
学校・家庭・地域が連携していると思う保護者の割合 【学校アンケート】 (学校支援課)	%	92.4	92.1	92.3	94.4	97.2	73.7	90.5	92.4	△
	3年度の主な取組									
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全小・中学校において、学校応援団を設置 ・地域の方や保護者のボランティアによる学校の教育活動への支援 ・小学校では、登下校の安全の見守り、環境整備、学習支援等、中学校では、環境整備、学習支援、部活指導等を実施 ・児童生徒の地域行事やボランティア活動への参加 									
成果状況/達成度評価										
<p>学校・家庭・地域が連携していると回答したPTA本部役員の割合は、初期値(92.4%)と比較して1.9ポイント低下しました。昨年度比では、+16.8ポイントとなっており、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中においても、感染対策を十分に講じながら、学校・家庭・地域連携の取組が積極的に行われているものと考えます。</p>										

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
学校応援団を含めた学校ボランティア数の児童生徒数に対する割合 (学校支援課)	%	38.6	38.3	41.6	39.2	39.2	30.4	32.2	46.0	△
	3年度の主な取組									
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全小・中学校において、学校応援団を設置 ・地域の方や保護者のボランティアによる学校の教育活動への支援 ・小学校では、登下校の安全の見守り、環境整備、学習支援等、中学校では、環境整備、学習支援、部活指導等を実施 									
成果状況/達成度評価										
<p>学校応援団を含めた学校ボランティア数の児童生徒数に対する割合は、初期値と比較して、6.4%低下しました。昨年度比では、+1.8ポイントとなっており、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中においても、感染対策を十分に講じながら、学校行事や環境整備等、学校が意欲的に学校ボランティアと連携・協力を図っていると、考えられます。</p>										

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
研修や研究会での成果を教育活動に積極的に反映させていると回答した学校の割合 【学校アンケート】 (学校支援課)	%	48.2	63.0	63.0	51.9	47.7	55.9	29.2	85.2	×
	3年度の主な取組									
	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員研修会、転入教員研修会等、鴻巣市独自の教職員研修の計画・実施 ・教育支援センターの教育指導員や指導主事による、初任者、若手教員、転入教員、臨任教員対象の学校訪問の実施 ・初任者研修、ステップアップ研修、5年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修、20年経験者研修等、ライフステージに対応した諸研修の各学校への確実な周知 									
成果状況/達成度評価										
<p>研修や研究会での成果を教育活動に積極的に反映させていると回答した学校の割合は、初期値(48.2%)と比較して、19ポイント低下しました。コロナ禍においても、可能な限り研修の充実を図ってまいります。</p> <p>今後も、鴻巣市教育委員会教職員研修グランドデザインに基づき、ライフステージに対応した諸研修を各学校に周知・計画・実施し、校内の教育活動の向上に反映できるよう、指導してまいります。</p>										

No.	学識経験者の意見	意見に対する回答【回答課】
1	<p>令和3年度もコロナ禍で社会全体が混乱する中、「With コロナ」「学びの継続」の方策を探り、安全安心な学校運営を推進していただいたことに感謝します。国・県の動向や指針を受け、市教委から対応マニュアル改訂版をその都度提示していただきました。市内で統一した対応がとれたことは、児童生徒・家庭・地域の不安を最小限にし、学校教育の充実・着実な成果に導いたと思います。また、GIGA スクール構想を他市に先駆けて推進し、「1人1台学習者用端末」は多様な学びを拓く足掛かりになったと思います。</p>	<p>市教育委員会としましては、国・県の通知を精査して各学校に周知しております。また、マニュアルにつきましても、各課と調整・確認しながら慎重に改定を重ねております。今後も、教育活動を止めずに、安心・安全な学習環境が維持できるよう努めてまいります。</p> <p>また鴻巣市の ICT 教育環境は鴻巣モデルと言われ全国に先駆けた導入となり注目もされております。今後も、多様な学びの実現に向けて効果的な活用を推進してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
2	<p>「学習に対して意欲をもっている児童の割合」の学校アンケートについては、小・中ともに「学習内容の抽象化・高度化」が数値の上まらない要因の一つと、前年度から変わらない分析ですが、「学年が上がるにつれ」とあるように発達段階による分析と手立てが必要かと思えます。また、県学調を指標にしているので小学校低学年の実態は掴みづらいかと思えますが、抽象的な思考が求められる3・4年生以前と比べる必要があると思えます。5年間で効果はあまり上がっていないように感じますので、同じ取組を繰り返すだけでなく工夫改善が必要と思えます。</p> <p>県学調の正答率が県平均を上回った学校の割合も小学校で初期値を上回ったものの「R3 目標値」との開きが大きい状態です。新たに行った「学力向上のためのリーフレット作成・配布」の活用・成果状況を振り返り、工夫改善が必要と思えます。</p>	<p>発達段階による分析については、埼玉県学力・学習状況調査の「学力」と「質問紙」の相関関係を把握することのできる「分析支援プログラム」を活用した、クロス集計について各校に周知し、実態に応じた手立てが講じられるよう、各校に働きかけております。</p> <p>埼玉県学力・学習状況調査を指標としているため小学校低学年の実態把握については難しい状況ではありますが、指導方法の工夫改善に資する情報提供、指導・支援を行ってまいります。</p> <p>「学力向上のためのリーフレット」については、活用状況や成果について調査・研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>

3	<p>豊かな心の育成として、何を指標にするかが難しいと思います。「規律ある態度」が指標として適切かと疑問もありますが、できているところとともに課題が見られた項目を分析し対策を検討する必要がありますと思います。</p> <p>全国的に不登校児童生徒は増加傾向にあり、コロナ以前より複雑な問題になっていると思います。全国・県との比較で本市の状況を把握するとともに、学校（教室）以外にも多様な学びの場や機会を設け、一人一人に寄り添った支援を今後もお願いします。教育支援センター等との連携・組織的支援の一層の充実を期待しています。新規事業「このすキッズページ」「こころの体温計」等は学習者用端末を活用した効果的な取組と思いますので、積極的な活用で効果につなげてほしいと思います。</p>	<p>規律ある態度の結果につきましては、成果と共に、課題を洗い出し、児童生徒一人一人に寄り添った指導・支援が行われるよう改善を図ってまいります。</p> <p>ご指摘のとおり、不登校の要因は様々であり、複合的に重なっている場合もございます。不登校率を見ましても、県や国と比較して決して少なくない数字であるのが現状です。今後も一人一人の社会的自立を目指した支援を行ってまいります。また、新規事業につきましても、教育支援センターだよりで情報発信するとともに、関係各課とも連携し、活用状況や成果等について、分析してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
4	<p>学校給食も黙食が課せられて、楽しい会食ができない状況かと思えます。そのような中でも「食育」の貴重な機会として、栄養教諭・担当栄養士・調理師等の創意工夫を感じます。献立表や給食だより、HP等で家庭にも発信している学校もあり、ありがたく思えます。おかげで好き嫌いや小食を改善した児童もいるようです。地道な努力が日々の生活の中で効果を上げていると思います。</p> <p>コロナ禍での運動不足から体力低下は大きな課題です。さらに広がる二極化への対策に学校でも工夫されていると思います。授業・体育的活動の充実とともに、社会体育等との一層の連携・充実を期待します。</p>	<p>各学校におきましては、新型コロナウイルス感染症対策のため、引き続き黙食に取り組んでおります。そのため、中学校給食センターや各校の栄養教諭が中心となり、児童生徒が楽しく喫食できるよう様々な工夫を凝らすと共に、地元の食材や地域・各国の料理など「食育」という視点も大切にしています。</p> <p>本課としましても、児童生徒の体力低下及び運動する子とそうでない子の二極化については、課題と捉えております。体力向上推進委員会の取り組みを市内に広めるとともに、地域との連携についても検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
5	<p>施設維持管理上の不具合による教育支障件数が「0」を継続しているのはありがたいと思います。学校の実態によって「古い施設だからしょうがないよね」という声もありましたが、大規模改修を計画的に進めていただき、環境による学びの格差が解消されつつあると思います。今後も学校現場の要望を適切に吸い上げて進めていただきたいと思います。</p>	<p>各学校の施設の老朽化は確実に進んでいます。今後も鴻巣市公共施設個別施設計画に基づき、各施設の状況を把握しながら、優先順位を付けて施設改修を進めてまいります。</p> <p>また、今年度から包括施設管理業務委託が始まり、有資格者による、各校月2回の巡回点検を行っております。学校現場からの聴き取りとともに不具合箇所の早期発見・改善に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【教育総務課】</p>

6	<p>笠原小学校と鴻巣中央小学校の統合により、小・中学校適正規模・適正配置の推進については大きく進展したと思います。統合後の学校生活の様子から課題も出てきたと思いますので、今後の実施計画にも生かしてほしいと思います。</p>	<p>統合後に実施した児童に対するアンケート調査結果では、多くの児童が統合後の学校生活にも慣れ、友人関係も比較的良好など、前向きと捉えられる回答をしています。しかし、不安を口にする児童もいることから、それらの声に耳を傾け、学校現場と連携の上、対応し、今後の取組にも生かしてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【教育総務課】</p>
7	<p>PTA 組織もここ数年で変革してきているようです。この項目のアンケート対象として「PTA 本部役員」が適切でしょうか。また、学校応援団は100%の設置率ですが、その活動は停滞していないでしょうか。</p> <p>学校の教育力向上のために研修が位置付けられています。時代に合わせて研修の形態等も工夫し内容の充実を図っていると思います。算出基準変更の説明をお願いします。</p>	<p>学校・家庭・地域の連携に関するアンケートは、主に学校運営に日頃からご協力をいただき、より学校と接していただいている方ということでPTA 役員の方を中心に、回答をいただいております。</p> <p>学校応援団については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、活動内容等に制限がある中で、各学校が工夫を凝らし、「特色ある教育活動の実施」や「社会に開かれた教育課程」の推進のため、活動を着実に進めております。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
8	<p>「保護者向け広報誌『かけはし』の発行による家庭と連携した生徒指導(年2回)」とありますが、家庭数配布なのでしょうか。あまり印象に残っておらず、どのような配布方法をしているのか教えてください。各ご家庭と連携した生徒指導は非常に大事なので、情報をもっと的確に届くように工夫してほしい。</p>	<p>「かけはし」は各校の児童生徒数での配布を学校に依頼しています。配付は7月と3月の2回の依頼をしており、保護者会や学級懇談会の時期にあたることから、懇談会資料等での活用も依頼し、家庭との連携が引き続き図られるよう、働きかけてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
9	<p>新型コロナウイルスの蔓延後、不登校が増えていると聞きます。不登校からの学校への復帰は1つのテーマではありますが、学校に行けなくても教育の機会を確保できるように工夫してほしい。すでに小中学校には、1人1台学習者用端末の整備は完了しているが、不登校の子どもたちに使われている状況にはないのは非常に残念。教師側のスキルの差も大きいので、すべての教師が使いこなせるように努めてほしい。</p>	<p>各校、児童生徒の実情に応じて、学習者用端末を活用した支援に取り組んでおります。しかしながら、学校間や教師間でのスキルの差があります。また児童生徒本人や家庭の状況によっては、学習者用端末による支援を求めている現状もあります。今後も教師のスキルの向上や一人一人に寄り添った支援を学校と連携して行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>

10	<p>多様な教育機会を確保するために、学校以外の選択肢をどのように考えていますか。登校支援に労力をかけるだけではなく、フリースクールなど、他の選択肢が増えることも大事だと思いますが、現状、教育委員会ではどこまで把握していますか。</p>	<p>現状、鴻巣市教育委員会と直接連携を図っているフリースクール等はございません。しかしながら、学校からの報告やさわやか相談室等との連携から、フリースクールやサポート校に通っている児童生徒の状況の把握に努めております。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
11	<p>「朝食を食べていること」自体も非常に重要なことだと思いますが、「食べる」という行為だけではなく、「家族と一緒に食べているか」や「どのような朝食を食べているのか」も重要だと思いますので、今後調査することを検討してほしい。また、「孤食」という問題もあり、「貧困」や「孤独」などへの対策を考える上でも「食」をどのように捉えるのかは非常に重要だと思います。</p>	<p>食事の内容の調査につきましては、関係機関と連携をとりながら、慎重に検討してまいります。また、「食」に関する問題は学校だけでは解決が難しいため、引き続き家庭への啓発に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
12	<p>「体力の維持」は非常に重要な課題ではあるが、その前提として楽しく体を動かすことを伝えていくことは重要だと思います。小中学校において、具体的な取組があれば教えてほしい。</p>	<p>本課としましても、運動好きな児童生徒を育てることは、大変重要なことだと考えております。体力向上推進委員会では、児童生徒が楽しく体を動かせる活動の工夫を考え、市内全小中学校に発信するために、検討を進めております。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
13	<p>校舎の老朽化は大きな問題となっています。安全に使えることが絶対条件ですが、トイレの臭いの問題など安心して使えない校舎も多いと聞きます。子どもたちが敬遠することがないように取組を急いでほしい。</p>	<p>各家庭や商業施設等にもトイレの洋式化が進んでいる中、学校施設についても順次対応しております。直近5年間では、約37%から62.5%と洋式化率も上がっているところです。また、毎年2校程度ですがトイレ改修工事も行っており、引き続き良好な教育環境となるよう、優先順位を付けて施設改修等を実施してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【教育総務課】</p>
14	<p>PTAの会費を修繕で使うことがあります。保護者の中には、「本来は学校側が費用を出すべきではないか」と思っている人が多いのが現状です。教育委員会や学校側がPTA会費の活用について、もっと実情を保護者に説明すべきだと思います。</p>	<p>学校の施設・設備や授業等で使用する備品については、市費による修繕を行っております。しかしながら、卒業記念等で制作、寄贈されたものの修繕については、予算に限りがあるため以前からお断りしている状況です。このため、PTA予算をこれらの修繕費に充てている学校があることは認識しております。</p> <p style="text-align: right;">【教育総務課】</p>

15	<p>今後、小学校の統合や再編を進める中で、地域住民の分断が起こらないように、地域の住民や保護者を巻き込み、意見を聞きながら、地域のより良い形が見出せるように、教育委員会は施策を進めていってほしい。</p>	<p>市内小中学校の適正規模適正配置を進めるうえで、保護者を始めとした地域の皆様との意見交換は大変重要であると考えています。立場の違いにより、様々な意見があるという事を認識した上で、子どもたちにとってより良い教育環境を整備することが第一であるということ共有し、最善の方向性が導き出せるよう、今後も引き続き意見交換会等を実施し事業を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【教育総務課】</p>
16	<p>保護者の共働きやひとり親が増える中で、これまで通りのPTA活動が難しくなっています。新型コロナウイルスによる活動制限をきっかけにして、これまでの活動を見直す動きも増えています。今後のPTAのあり方について、市P連と連携しながら、新たな形を模索していくことが必要だと思えます。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、家庭環境の変化や新型コロナウイルス感染症をきっかけとして、各校の実情に応じて、活動計画の見直しが随時図られています。今後も、教育委員会事務局・市P連・学校が十分に連携し、よりよいPTA組織の在り方について、検討を重ねてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】【生涯学習課】</p>
17	<p>各小中学校で学校応援団が設置されていますが、地域差も見て取れます。学校応援団の好事例などがあれば、横展開するなどの取組が必要だと思えます。</p>	<p>学校応援団については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、活動内容等に制限がある中で、各学校が工夫を凝らし、「特色ある教育活動の実施」や「社会に開かれた教育課程」の推進のため、活動を着実に進めております。</p> <p>また、好事例の共有については、本市の取組も掲載されております「埼玉県『地域学校協働活動』実践事例集」等を通じて横展開を図っております。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
18	<p>学校での生活に満足している児童生徒が毎年90%を上回っているのは、児童生徒のニーズに応じた細かな指導や各学校の特色を生かした活動をしっかりと努めてきた成果だと思えます。</p> <p>今後も新しい生活様式に適応しながら、児童生徒一人一人の悩みを把握し、充実した楽しい学校生活を送れるよう推進していただければと思えます。</p>	<p>各校には引き続き「心の教育」の充実に努めるよう働きかけてまいります。各校の特色を生かした教育活動や、「特別の教科 道徳」の授業の充実、教育相談体制の確立、思いやりアンケートを活用した、児童生徒一人一人の悩みの早期発見、早期対応等の継続した取組を推進してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>

19	<p>確かな学力の向上については、学力向上支援員・いきいき先生の配置は引き続き必要な取組だと思ひます。今後は、生徒と年齢の近い大学生学習ボランティア・地域の学校応援団等とのコミュニケーションを通じて、学力向上につなげてほしいと思ひます。</p>	<p>学力向上支援員やいきいき先生の配置は、個に応じたきめ細かで丁寧な教育活動を進めるうえで、引き続き欠かすことのできない重要な事業であると捉えています。</p> <p>大学生ボランティアについては、今後も関係大学と連携を図るとともに、市の広報やHPでの募集も継続してまいります。学校応援団についても、各校の実態に応じた特色ある教育活動が展開されるよう働きかけてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
20	<p>学力調査で県平均に近い数値となっているのは、コロナ禍でありながらも各学校が細かい指導を根気よく行った成果だと思ひます。中学校の学習状況調査の結果が学年により波があるのが気になるのですが、平均以下の科目の改善ができるよう取組んでいただきたいと思ひます。</p>	<p>埼玉県学力・学習状況調査の結果を受け、学力の伸びにおける効果的であった具体的な取組についての情報を各校から収集し、市教育委員会で把握したうえで、各校へ情報提供しております。今後も、市内の優れた取組が、各校の実態に応じた活用につながるよう働きかけてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
21	<p>心の教育の推進については、責任ある行動や人間関係の構築がとれるよう学校・家庭・地域との連携は不可欠であると思ひます。</p> <p>新しい生活様式に適応しながら、集団生活の中から規律ある態度の育成を願ひます。</p>	<p>各校には引き続き、全教育活動を通じて「心の教育」の充実に努めるよう働きかけてまいります。また、保護者向け広報紙「かけはし」の発行の他、学校評議委員会や学校運営協議会からの助言を積極的に活用し、家庭、地域の教育に対する関心と理解を一層深め、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を推進してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>

22	<p>不登校に関しては、その要因が多様化していて、簡単に解決できる問題ではないと思いますが、時間がかかっても、一人一人の悩みの状況に合わせて、しっかりと寄り添った支援をお願いしたいと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、不登校への対応は様々であります。個別最適な学びの実現に向けて、現在、オンラインでの学習指導や教育支援センターに設置してある適応指導教室での指導等を充実させているところです。また、教育支援センターを中心とした教育相談の充実や、適応指導教室のさらなる周知を図ってまいります。併せて、市内全小・中学校に配置されているスクールカウンセラーや、全中学校に配置されているさわやか相談員等を活用し、一人一人に寄り添った対策を講じてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
23	<p>朝食については、学校内だけでは解決できない問題ではないので、家庭への啓発を進め、引き続き各学校への食育の充実をお願いしたいと思います。さらに、学校給食を楽しみにしている児童生徒のためにも安定した食育の充実を期待します。</p>	<p>本課としましては、国・県の通知を精査して各学校に情報提供しております。各学校では、給食だよりや保健だより等を通じて家庭への啓発を続けております。また、今年度は鴻巣西中学校が食育指導力について研究発表を行い、研究成果を市内外に広めました。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
24	<p>外遊びや運動・スポーツをまったくしない児童生徒の割合が以前より高い傾向にあるようですが、コロナで制限をしていたのだから当然の結果です。体育の授業で、スポーツから得られる達成感や充実感を味わえるきっかけとなるような授業を期待します。</p>	<p>本課としましても、体育授業の充実は大変重要なことだと考えております。学校訪問による指導や、体力向上推進委員会委嘱の研究授業発表等を通して、さらなる授業力の向上に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
25	<p>適正規模・適正配置の推進については、地域住民への説明や情報を共有し、地域の理解を得ながら、笠原小学校の事例も踏まえて、引き続き進めてほしいと思います。統廃合により、デメリットとなる要因を取り除き、不安のない学校生活を送れるような支援を希望します。また、廃校となった学校の再利用についても、他市町村の事例等を参考に環境整備をしていただければと思います。</p>	<p>適正配置等審議会からの答申でも示された通り、情報共有は必要不可欠と考えることから、今後も地域の方々との意見交換等を実施しながら取り組んでまいります。</p> <p>また、例えば、再編により通学が遠距離となるなどのデメリットに対して、スクールバスの運行を実施するなど、児童や保護者の不安や負担を軽減してまいります。</p> <p>なお、閉校後の学校跡地の活用につきましては、地域の方々からの要望や意見を聞きながら、教育委員会としての考えをまとめ、庁内の主管部署等に共有してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【教育総務課】</p>

施 策

2 市民文化・生涯学習の充実

施策の対象

市民

施策の目指す姿

多様な文化にふれあう機会や生涯学習に取り組む市民が増えています。

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
生涯学習に取り組んでいる市民の割合 【市民アンケート】	%	55.0	53.4	52.3	57.6	56.1	50.4	56.6	61.0	○
	<p>3年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学講座「このとりアカデミー」、生涯学習フェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・定員を半減し、市民教養講座(全3回)を開講 ・各公民館・生涯学習センター(9館)において、青少年向け講座・成人向け講座・高齢者向け講座を開催。 ・図書館(3館)においては、3館共通事業及び各図書館での単独事業については、定員を半減、開催時間を短くするなど、感染症拡大防止対策を講じたうえで各種講座(子ども向け・一般向け)を開催。 									
(生涯学習課)	<p>成果状況/達成度評価</p> <p>生涯学習に取り組んでいる市民の割合は、初期値と比較し、1.6%増加、前年度に比べ6.2%増加しました。</p> <p>これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためサークル活動や施設利用を控えていた市民が、ウィズコロナを踏まえた「新しい生活様式」に適応した講座への参加やサークル活動を再開したことが影響したものと考えられます。</p> <p>目標値達成に向け、社会環境の変化に対応し、ウィズコロナを踏まえた「新しい生活様式」に適応できる講座企画等を行い、継続的に活動できるよう生涯学習の場の充実を進めてまいります。</p>									

●教育委員会の自己評価

1. 「生涯学習機会の充実」については、成果指標の生涯学習機会に関する満足度及び生涯学習施設の場・施設が充足していると思う市民の割合は初期値と比較して増加しましたが、公民館での講座参加者数は初期値と比較して減少しました。今後も、市民が安心して施設利用ができるように新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、住民ニーズの把握に努め、講座参加者の終了後の仲間づくりやサークルなどが結成でき、生涯学習活動が継続していけるような環境づくりを目指すなど、工夫していく必要があると考えます。
2. 「芸術文化の振興」については、指標が、趣味(茶道、絵画、音楽等)・芸術鑑賞を行っている、伝統芸能・国内の風土や伝統に親しむ人の割合となっており、初期値と比較して減少しました。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化財展等のオンライン開催を検討し、引き続き感染症対策を徹底した中で各施設との連携を図りながら、芸術文化活動に親しむ機会の提供について検討していきます。
3. 「伝統文化の保護・継承」については、指標が、市内の指定文化財を知っている市民の割合となっており、初期値と比較して減少しました。貴重な文化財を適切に保存・活用し、次世代に継承していくことが重要であると認識しており、今後も出前講座等を活用していただく中で、直接市民と対話をしながら文化財のPRに努めてまいります。
4. 「生涯学習施設の利用促進」については、公民館利用者、図書館利用者、クリアこうのす・こうのすシネマ利用者は初期値と比較して減少となっています。人口減少や趣味の多様化及び新型コロナウイルス感染症のため、新規利用者を増やすことは難しくなっていますが、各施設において、社会の変化に対応できるよう地域住民のニーズを捉え、利用促進につなげていきます。

市民文化・生涯学習は、新型コロナウイルス感染症拡大による閉塞的な風潮の中、市民生活に潤いと活力を与え、「人輝こうのす」の実現に欠くことができないものであり、成果指標の向上を目指して、事業を推進してまいります。

基本事業	1 生涯学習機会の充実
基本事業の対象	市民
基本事業の目指す姿	学習の機会が充実して、多くの市民が参加しています。

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
生涯学習機会に関する 満足度 【市民アンケート】	%	73.5	71.0	73.4	74.8	79.5	78.0	77.5	79.8	○
	3年度の主な取組 市民大学講座「こうのとりのアカデミー」、生涯学習フェスティバルについては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。コロナ禍における学習機会の提供ということで、市民大学講座特別展示『たまごのはなし』原画展やこのすチャンネルを利用した市民大学オンライン講座を開講(全3講座)した。									
	サークルガイド(年1回:7月)・生涯学習ガイド(年2回:4・10月)を発行し、各公民館のサークル、講座等の案内、活動状況を紹介。ホームページ上での情報公開も行った。									
(生涯学習課)	成果状況/達成度評価 生涯学習機会に関する満足度が、初期値から比較して4.0%増加していますが、昨年度と比較して0.5%減少しています。 これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公民館や図書館、そしてコミュニティセンター等市内公共施設の臨時休館、利用制限による学習機会の減少、また、市民自身の利用控えが加速したことも原因として考えられます。目標値達成に向けて、感染症対策を講じた上での市民のニーズに合った講座企画と周知が求められます。									

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
生涯学習講座参加者数	人	15,971	16,292	14,493	14,643	13,926	1,550	4,620	17,200	×
	3年度の主な取組 9公民館・生涯学習センターで青少年、成人、高齢者等を対象に約228講座を実施し、延べ4620人の参加があった。									
	成果状況/達成度評価 公民館等の講座参加者数は、令和2年度と比較して講座回数が増えたこともあり、3,070人増加しているが、H27年度の初期値と比較すると、11,351人の減少となっております。要因としては、令和2年度同様新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座を中止したこと、実施した講座についても人数制限をしたことが考えられ、その他傾向として人口減少や、生涯学習の選択肢の広がりによる影響もあります。各種講座の受講後アンケートでは、満足度が高い結果となっています。 目標値へ近づくためには、『新しい生活様式』と向き合い、参加者増加に向けて更なる工夫と取組が必要と考えます。									
(公民館)										

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
生涯学習の場・施設が 充足していると思う市民 の割合 【市民アンケート】	%	76.2	73.1	73.4	75.8	79.8	78.7	79.5	82.0	○
	3年度の主な取組 令和元年度に北新宿生涯学習センターが開館し、各地域に「学びの拠点」として公民館・生涯学習センターが整備されている。各施設で各種講座(青少年・成人・高齢者向け)を開催し、生涯学習事業を実施。 新型コロナウイルス感染症対策としてアクリルパーテーション・空気清浄機を設置、市民が安心して施設利用できるように努めた。									
	成果状況/達成度評価 生涯学習の場・施設が充足していると思う市民の割合については、初期値と比較して3.3%、昨年度と比較して0.8%増加しています。要因として令和元年度に北新宿生涯学習センターが開設し、市内各所に生涯学習施設が整備されたこと、施設のコロナ対策の徹底により市民の施設利用が再開していることが影響していると考えます。 今後も市民の施設利用の推進を図るため、積極的な周知と広報に加え、ウィズコロナを踏まえて『新しい生活様式』への順応を進めてまいります。									
(生涯学習課)										

基本事業	2 芸術文化の振興
-------------	------------------

基本事業の対象	市民
----------------	-----------

基本事業の目指す姿	市民が芸術文化にふれあう機会が増えています。
------------------	-------------------------------

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
芸術・文化に親しんでいる市民の割合 【市民アンケート】	%	60.3	57.9	57.2	62.6	57.3	40.7	47.4	65.0	×
	3年度の主な取組 ・各公民館・生涯学習センター(9館)において、「しめ縄作り教室」、「子ども絵画教室」、「ハーバリウム教室」、「歴史講座」、「ピアノアフタヌーンコンサート」などを開催。 ・図書館(3館)において、「バリアフリー映画会」、「無声映画上映会」、「秋の夜長のお楽しみ袋」、「読書の木」などを開催。 ・地域文化の振興に寄与することを目的とした須田剋太展を開催。 ・例年実施している市民文化祭の「作品展」、「芸能発表会」、「秋の茶会」、「囲碁大会」、「鴻響楽」は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止している。									
	成果状況/達成度評価 芸術・文化に親しんでいる市民割合は初期値と比較し、12.9%低下しました。 要因としては、公民館・図書館等の社会教育施設やクリアこうのす・こうのすシネマ等の文化施設において、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応による施設利用制限等の実施により施設を訪れる人が減少したためと考えます。 今後も、新型コロナウイルス感染症対策を打ち出し、安心して施設利用できることを周知し、様々な世代が芸術文化に触れ合う機会となる講座やイベントの企画立案をし、市民文化の向上につなげてまいります。									

基本事業	3 伝統文化の保護・継承
-------------	---------------------

基本事業の対象	市民
----------------	-----------

基本事業の目指す姿	文化財や伝統芸能を保護・継承し、活用しています。
------------------	---------------------------------

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
市内の指定文化財を知っている市民の割合 【市民アンケート】	%	71.6	69.5	66.4	66.9	66.0	65.4	61.4	74.8	×
	3年度の主な取組 ・郷土芸能保存団体(6団体)に補助金を支出し活動を支援。 ・文化財啓発のため、文化財説明板(登戸の獅子舞)を設置。 ・鴻巣御殿模型のメンテナンスを実施。 ・職員出前講座「触って学ぼう鴻巣の歴史」を実施(1件) ・文化財の周知、市民への郷土愛の効用を図るため「民具」をテーマに文化財展を開催した。 また、同時に市ホームページにおいてもオンライン開催している。									
	成果状況/達成度評価 市内の指定文化財を知っている市民の割合は初期値と比較して10.2%低下しました。 要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、古写真展の開催自粛や、指定文化財である各郷土芸能の活動自粛により、昨年度よりも市民の目に触れる機会が減少したことが挙げられます。 今後は市指定文化財がより市民の目に触れる機会を増やすためのさらなる取組が必要と考えます。									

基本事業	4 生涯学習施設の利用促進
-------------	----------------------

基本事業の対象	市民
----------------	-----------

基本事業の目指す姿	生涯学習施設が整備され、多くの市民に利用されています。
------------------	------------------------------------

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
市内9公民館利用者数 (公民館)	人	344,380	347,173	326,092	329,903	304,954	147,266	208,240	388,000	×
	<p>3年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人向け講座では「避難所体験講座」や「スマホ講座」「男の料理教室」等を開催。また、地域の歴史講座「鴻巣七騎」を開催した。 ・青少年の講座では「夏休み読書感想文の書き方講座」や「夏休み親子木工教室」等を開催。 ・例年実施しているサークルや地域との協働による公民館まつりやふきあげ音楽祭等は新型コロナウイルス感染対策のため中止している。 <p>成果状況/達成度評価</p> <p>公民館利用者数は初期値(344,380人)に比べると39%減少しているが、対前年度(147,266人)と比べると41%の増加となっております。</p> <p>令和3年度も、令和2年度同様新型コロナウイルス感染防止対策により、施設の利用制限(開館時間、人数制限その他利用目的によるもの)を行いました。コロナ禍以前と比較すると、サークル・団体の活動自粛等、新型コロナウイルス感染拡大による影響が見受けられます。</p> <p>人口減少の中で、利用者数増加は厳しいところですが、システム予約の導入等による利便性の向上と、ウィズコロナを踏まえた『新しい生活様式』への順応を進め、利用者数の増加を目指してまいります。</p>									

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
市内3図書館来館者数 (生涯学習課)	人	610,924	578,483	581,881	578,469	578,601	298,088	389,036	790,000	×
	<p>3年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の利用制限(学習席・閲覧席を半減、開館時間の縮小など)を行った。また、実施した講座についても定員を半数以下に減らすなどして対応した。 ・おはなし会をボランティアと協働で実施。 ・「大人の教養講座」「大人の趣味講座」を開催。 ・「読書の木」「本のお楽しみ袋」等、来館時間短縮の中でも貸出に繋がる事業を実施。 <p>成果状況/達成度評価</p> <p>図書館利用者数は、初期値と比較し、221,888人減少しました。対前年度では90,948人増加しています。</p> <p>人口減少による自然減の他、図書館システム入替に伴う休館、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う利用制限の実施などが要因として考えられます。今後も利用者数の増加は難しいところですが、図書館の利用ニーズに応えた蔵書を充実させ、市広報紙や図書館のホームページを活用して、図書館利用促進のための周知を行います。</p>									

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
市内2文化施設の年間利用者数(クリアこうのす、こうのすシネマ)	人	520,408	549,932	546,011	543,793	518,685	329,449	443,906	570,000	×
	3年度の主な取組 クリアこうのすでは文化芸術振興事業や鑑賞事業を中心に年間24件の事業を開催しました。 こうのすシネマでは、通常の映画上映の他、旧作上映や試写会を行いました。また、文化芸術振興支援事業を行い、映画鑑賞料金の一部を市が負担し、市民が文化に触れる機会を増やしました。									
(生涯学習課)	成果状況/達成度評価 年間利用者数は初期値と比較すると76,502人減少、前年度から比較すると114,457人増加しました。施設全体として、新型コロナウイルス感染症拡大防止として施設の利用制限を設けたことが減少の原因と考えられますが、少しずつ利用者が戻ってきている様子が見られます。 両施設とも、今後も継続して新型コロナウイルス対策を行い、安全に施設を利用していただけよう努め、各施設において魅力ある事業を展開することで、利用者数の増加を図っていきます。									

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
生涯学習施設の不具合による利用支障件数	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3年度の主な取組 吹上図書館において室外機の故障による冷房の使用不可が7月に発生しましたが、扇風機を複数台設置するなど対策を講じ、開館を継続しました。 田間宮生涯学習センター視聴覚室において発生した雨漏りを改善するため、屋上防水改修工事及び監理委託を実施しました。 この他各館で修繕を実施していますが、利用者の活動に支障はありませんでした。今後も不具合による利用者への支障がないよう、施設の維持管理に努めます。									
(生涯学習課) (公民館)	成果状況/達成度評価 R3年度の生涯学習施設の不具合により、利用者の活動不可となった件数は0件を維持しています。 要因として、施設の適正な管理・調整をしたため、と考えます。									

No.	学識経験者の意見	意見に対する回答【回答課】
1	<p>生涯学習に取り組んでいる市民の割合がプラスに転じてすばらしいと思います。基本事業ごとの数値は下がっているものが多いですが、市民の意識として生涯学習意欲の高まりを感じます。</p>	<p>コロナ禍においても感染症対策を施し、市民の皆さんの生涯学習活動の機会を提供してまいりました。今後もコロナウイルス感染症拡大状況や社会情勢を注視しながら、市民文化・生涯学習の充実を図るため、生涯学習の機会の提供に積極的に取り組んでまいります。</p> <p>【生涯学習課】【公民館】</p>
2	<p>「新しい生活様式」での生涯学習の場づくりに努めていただきありがとうございました。参加人数の激減も致し方ないと思います。安全対策の徹底を図りながらの企画・運営は、手探りの部分が多く「正解」もなく、苦慮されたことと思いますが、その分、参加者の満足度は高かったと思います。また、この時期だからこそ気づく面もあったと思います。新規の企画や講座はオンライン講座や「スマホ講座」「男の料理教室」、図書館での電子書籍の貸し出しなど、ニーズを反映していたと思いました。文化財のメンテナンスや展示物の制作なども、じっくり取り組める良い機会ととらえます。制限解除後の再起を期待します。</p>	<p>コロナウイルス感染症拡大の中、事業の開催につきましては、状況を見ながら慎重に行ってまいりました。このような中、これまで対面が中心だった事業が中止を余儀なくされる中、オンラインでの講座開催や電子図書館の開始等の新規事業を開催することができました。このような変化を前向きに捉え、今後も色々な視点から事業の開催を考え、市民ニーズに答えていきたいと考えております。</p> <p>【生涯学習課】【公民館】</p>
3	<p>生涯学習施設の不具合による利用支障件数0件を維持しており、素晴らしいと思います。</p>	<p>公民館・生涯学習センターや図書館等の生涯学習施設については利用に支障が出ないよう施設の適正な管理を行っています。</p> <p>今後も多くの方が安心してご利用できるよう適正な施設管理・運営を継続してまいります。</p> <p>【生涯学習課】【公民館】</p>

4	<p>新型コロナウイルスの影響で活動をやめてしまったサークルや団体も多いのではないのでしょうか。新たなサークル・団体の立ち上げに向けて具体的に支援していることがあれば教えてください。</p>	<p>新たなサークル・団体の立ち上げにつきましては、市民大学講座やコスモス大学校において、受講生同士の交流が図られ、講座終了後に新たなサークルや団体発足に繋がるよう支援しております。また、新たにサークル・団体を立ち上げるため指導者を探している方には、生涯学習指導者人材バンクに登録されている指導者の情報提供を行っており、サークル・団体立ち上げ後に会員の募集を希望している団体には、サークルガイドに掲載することで、市民にサークル・団体の情報提供ができるよう支援を行っております。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】【公民館】</p>
5	<p>生涯学習機会の充実については、コロナ禍で中止や人数制限があり参加者の減少はやむを得ないと思いますが、新しい生活様式に適応した講座やサークル活動が再開できたことは評価できる結果です。市民に学ぶ機会を提供し、豊かな日々を過ごしていただけるよう引き続き取り組んでいただければと思います。</p>	<p>どのような状況下であっても市民の学習機会を提供し続けることは行政の大切な役割であると認識しております。</p> <p>今後も新しい生活様式を踏まえた方法を取り入れながら多様化するライフスタイル、価値観に対応した学習機会の提供に積極的に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】【公民館】</p>
6	<p>芸術文化の振興、伝統文化の保護・継承については、コロナ禍の影響を受けながらも講座開催により、市民にとって芸術文化に触れる重要な機会になったと思います。今後も、文化財がより市民の目に触れる機会を増やすための取組を検討してください。</p>	<p>芸術文化の振興や伝統文化の保護継承につきましては、実際に見たり、聞いたり、触れたりすることが、大きな要素となることから、これらの事業が中止になった影響は大きいと考えております。今後につきましては、多くの方に芸術文化や伝統行事に触れる機会を提供するため、各関係団体と協力して事業を開催していきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】【公民館】</p>
7	<p>生涯学習施設の利用促進については、鴻巣市は他市と比較しても充実した施設数となっている中、それぞれの公民館で、地元住民のニーズを取り入れて、魅力的な講座の企画、施設の管理に努めていただければと思います。</p>	<p>今後も公民館・生涯学習センターや図書館等の生涯学習施設の特色を考慮しつつ、誰もが気軽に立ち寄り、集い語り合うことができるよう環境整備を図ってまいります。また、受講してみたいくなるような魅力的な講座の設定、講座の対象とする層が受講しやすい開設時間の設定等、市民のニーズに合わせた講座の実施に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】【公民館】</p>

施 策	3 スポーツの振興
------------	------------------

施策の対象	市民
--------------	-----------

施策の目指す姿	多くの市民が自分に合ったスポーツを見つけ、スポーツに親しんでいます。
----------------	---

成果指標	単位	初期値	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3	成果状況
		(H27)							目標値	
週1回以上スポーツをする18歳以上の市民の割合 【市民アンケート】	%	41.7	42.4	53.8	53.7	58.9	55.4	59.4	45.0	○
	3年度の主な取組 ・地域でのスポーツ活動では、スポーツ指導者426人、総合型地域スポーツクラブの参加者数254人、スポーツ団体登録者数6,871人となっています。 ・ラジオ体操の普及促進を目的に、11月と3月にラジオ体操講習会を開催、延べ122人が参加しました。 ・歩数計を貸与の他、歩いた歩数に応じてポイントがたまり、埼玉県産の農産物が抽選で当たる、埼玉県のコバトン健康マイレージ事業への参加者は4,692人となっています。									
(スポーツ課)	成果状況/達成度評価 (状況)週1回以上スポーツをする18歳以上の市民の割合は、初期値(41.7%)と比較して、17.7ポイント向上しました。 (要因)近年、健康志向が高まり、スポーツ活動を行う住民の割合が増加しているほか、新型コロナウイルス感染症対策を講じて気軽に参加できる事業を企画・実施した結果、対前年度比を上回るようになりました。今後も「いつでも、どこでも、だれもが」行えるスポーツの普及推進や感染症対策をした魅力あるイベント等で、スポーツに関心の低い世代の方々の身体を動かす動機付けとしての事業展開を図っていきます。									

●教育委員会の自己評価

<p>1 「スポーツをする機会の提供」については、スポーツイベント・教室参加者数を成果指標としています。対前年度比では、感染症対策を講じて一部イベントや教室が開催されたため、参加者数が増加していますが、未だ終息の目途が立たない新型コロナウイルス感染症の感染拡大により発出された緊急事態宣言等の影響で、スポーツイベント・スポーツ教室等の中止や、社会問題である少子高齢化によるイベント参加者数の減少により目標値を大きく下回る結果となりました。一方では、市民の健康増進や余暇時間を活かした生きがいづくりなどスポーツへのニーズはますます増加することが想定されます。スポーツに関心の低い世代からの参加を促せるよう健康づくり施策とも連携して社会環境の変化に対応したスポーツイベントや教室を展開し、スポーツを始めたい市民に気軽に行えるスポーツの普及促進や環境・機会づくりを意識した事業を推進していく必要があると考えます。今後も新型コロナウイルス感染症対策を講じ、安心安全で魅力あるスポーツイベントや教室等を開催していきます。</p> <p>2 「スポーツ施設の整備と有効活用」については、スポーツ施設の年間延べ利用者数を成果指標の一つに設定していますが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じての施設開放を行うとともに、指定管理者による施設のPR効果を発揮して、令和2年度の利用者数と比べ、大幅な増加となりました。今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて施設の利用を図っていきます。</p> <p>3 「指導者・団体の育成と活用」については、スポーツ団体の登録者数を成果指標としています。高齢化によるスポーツ団体登録者数の減少、少子化によるスポーツ少年団員数の減少に伴い、団体等の解散・合併等が一因のほか、市民のライフスタイルの多様化により、特定のスポーツ団体等に登録してスポーツ活動を行う市民が減少傾向にあると考えられます。スポーツ愛好者同士のコミュニティづくりは、市民スポーツを推進するうえで重要な要素と考えていますので、今後もスポーツ団体登録者の増加に向けた支援をします。</p> <p>また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、スポーツへの関心が高まっており、新型コロナウイルス感染症対策を講じて、パラスポーツも含めた様々なスポーツの普及活動における裾野を広げるとともに、指導者の充実を図っていきます。</p>
--

基本事業	1 スポーツをする機会の提供
-------------	-----------------------

基本事業の対象	市民
----------------	-----------

基本事業の目指す姿	スポーツに親しむ機会が充実し、より多くの市民がスポーツ活動をしています。
------------------	--------------------------------------

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
スポーツイベント・教室参加者数 (スポーツ課)	人	24,320	24,308	26,732	26,551	14,301	7,184	9,923	27,000	×
	3年度の主な取組 スポーツ・レクリエーション大会参加者1,982人、スポーツ教室参加者1,038人、ラジオ体操、ウォーキング事業等参加者6,903人 各種大会及びスポーツ教室は、感染症対策を講じて一部開催しました。 本市の一大スポーツイベントである市民体育祭及び鴻巣パンジーマラソンは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。 昨年度同様、コロナ禍でもできるコバトン健康マイレージ事業を推進し、ウォーキングを通じた健康増進を推奨しました。また、公園等健康運動器具を使用し、感染症対策を講じて教室等を開催し、健康増進に寄与しました。									
成果状況/達成度評価 (状況)スポーツイベント・教室参加者数は初期値(24,320人)と比較して、59.2%低下しました。 (要因)様々な年代を対象としたイベント・教室の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、政府からの緊急事態宣言の発出等でイベント等の開催が制限されたこともあり、前年度より実績値は上回るものの、初期値を下回ることになりました。 特に、一大イベントである、市民体育祭と鴻巣パンジーマラソンが中止となったことが挙げられます。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を徹底し、各種イベント等を安全安心に開催できるよう努めていきます。										

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
スポーツイベントの機会が十分だと思う市民の割合【市民アンケート】 (スポーツ課)	%	74.7	71.7	73.9	75.3	78.0	76.5	75.6	75.0	○
	3年度の主な取組 市民の健康の保持増進と運動の習慣化を図るため、ラジオ体操、ウォーキングの普及促進を積極的に推進しました。特に埼玉県のコバトン健康マイレージ事業への参加者は4,692人に至りました。									
成果状況/達成度評価 (状況)スポーツイベントの機会が十分だと思う市民の割合は初期値(74.7%)を、0.9ポイント向上しました。 (要因)ラジオ体操やウォーキングなど健康重視の事業に積極的に取り組んでいますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、政府からの緊急事態宣言の発出等でイベント等の開催が制限されたこともあり、対前年比を下回ることになりました。感染症対策を講じ、気軽にスポーツに取り組むことができるよう軽運動を中心に、スポーツを始める環境・機会づくりを意識して事業推進を図っていきます。										

基本事業	2 スポーツ施設の整備と有効活用
-------------	-------------------------

基本事業の対象	市民
----------------	-----------

基本事業の目指す姿	スポーツ施設をより多くの市民が活用しています。
------------------	--------------------------------

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
スポーツ施設の年間の べ利用者数	人	836,225	881,014	869,136	857,900	765,291	534,187	626,658	855,000	×
	3年度の主な取組 総合体育館 79,768人 コスモスアリーナふきあげ 78,079人 陸上競技場 65,954人 吹上総合運動場 6,620人 吹上荒川総合運動公園 12,445人 上谷総合公園 109,902人 赤見台近隣公園 9,841人 糠田運動場 3,830人 天神テニスコート 13,957人 常光テニスコート 1,121人 東町公園テニスコート 2,018人 ひばり野中央公園テニスコート 2,459人 吹上富士見テニスコート 4,376人 吹上富士見ゲートボール場 2,082人 吹上パークゴルフ場 56,144人 かわさとグラウンドゴルフ場 5,488人 川里中央公園 11,112人 あかぎ公園 9,773人 ・市内体育施設 474,969人 ・学校体育施設(体育館・校庭・武道場) 151,689人 合計 626,658人									
(スポーツ課)	成果状況/達成度評価 (状況)スポーツ施設の年間延べ利用者数は、初期値(836,225人)と比較して、25.1%減少しました。 (要因)減少した要因としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、まん延防止等重点措置の発令及び緊急事態宣言が再発令されたことに伴い、施設の利用制限(利用時間の短縮)などが影響したものと考えます。ただし、大部分の体育施設で令和2年度の年間延べ利用者数より増加をしています。今後も新型コロナウイルスについては、感染症の収束が見えない中で、引き続き、感染予防対策を講じて、施設の利用を図っていきます。									

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
スポーツの場・施設の充足 満足度 【市民アンケート】	%	66.8	62.7	65.3	66.1	69.9	70.8	71.0	70.0	○
	3年度の主な取組 昨年度は、糠田運動場(多目的グラウンド・サッカー場)が荒川堤防強化工事のため、6月末より使用停止となりました(工事は令和4年6月まで継続)。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため施設の利用休止や利用制限が行われましたが、指定管理者が各競技のガイドラインを基に感染予防対策を行いました。									
(スポーツ課)	成果状況/達成度評価 (状況)スポーツの場・施設の充足度は、初期値(66.8%)と比較して、4.2ポイント増加しました。 (要因)上昇した理由として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による施設の利用制限期間が短かったことや、指定管理者による施設のPRが効果を発揮していることなどが挙げられます。 今後も利用者が気持ち良く施設を利用できるよう施設の維持管理に努めていきます。									

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
スポーツ施設維持管理 の不具合による利用支 障件数	件	6	2	2	2	1	0	0	5	○
	3年度の主な取組 日常の点検確認を滞りなく実施しています。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開館時間の変更等がありましたが、適正に維持管理を行いました。									
(スポーツ課)	成果状況/達成度評価 (状況)スポーツ施設維持管理の不具合による利用支障件数は、初期値(6件)と比較して、6件減少し0件でした。 (要因)日常の点検確認作業を滞りなく実施した結果、成果が出たものと考えられます。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対して適正な維持管理をしていたことも挙げられます。今後も計画的に修繕を実施し、緊急的な修繕が発生した際は、迅速に対応出来るよう努めていきます。									

基本事業	3 指導者・団体の育成と活用
------	----------------

基本事業の対象	スポーツ指導者、スポーツ団体
---------	----------------

基本事業の目指す姿	スポーツ指導者、団体が育成され、地域でのスポーツ活動がさかんになっています。
-----------	--

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
スポーツ指導者登録数 (スポーツ課)	人	493	479	471	470	459	455	426	500	×
	3年度の主な取組 スポーツ少年団指導者 426人 スタートコーチ養成講習は開催するものの、その他、指導者等を対象とした研修(普通救命講習・母集団研修・登録指導者研修・リーダー育成事業)が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。									
成果状況/達成度評価 (状況)スポーツ指導者登録数は、初期値(493人)と比較して、13.6%低下しました。 (要因)少子高齢化社会を迎え、スポーツ少年団に登録する子どもの減少に伴い、指導者数も年々減少していることが挙げられます。今後は、子ども及び指導者の積極的な登録促進に向けた啓発活動を支援するとともに、指導者の育成、交流にも力を入れ、指導者相互の結びつきの強化を図り、子どもの卒団後も指導者として残っていただけるようにスポーツ少年団に働きかけていきます。										

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
総合型地域スポーツクラブ参加者数 (スポーツ課)	人	661	774	548	586	725	324	254	700	×
	3年度の主な取組 NPO法人鴻巣プレス総合型地域スポーツクラブ 会員数140人 笠原いきいきスポーツクラブ 会員数114人 既存の総合型地域スポーツクラブの活動支援を実施しています。年に一度、活動状況について調査を実施、適切な指導を行っています。 ※川里スポーツクラブ(令和3年3月2日登録取下げ) ※NPO法人ウォーターワイズ(令和3年3月2日登録取下げ)									
成果状況/達成度評価 (状況)総合型地域スポーツクラブ参加者数は、初期値(661人)と比較して、61.6%低下しました。 (要因)初期値時点では4団体の登録がありましたが、2団体が登録を取り下げたほか、新型コロナウイルス感染症の影響による活動自粛・制限等のため、スポーツの機会が減った登録者の脱会等が挙げられます。今後も身近な地域で子どもから高齢者までが共にスポーツに親しみ、地域コミュニティづくりに役立てるような団体のクラブ創設を支援していきます。										

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
スポーツ団体登録者数	人	8,378	8,735	7,745	7,946	7,619	7,382	6,871	9,000	×
	3年度の主な取組									
	スポーツ協会 登録者数4,740人 事業参加人数1,186人 スポーツ少年団 登録者数1,367人 事業参加人数953人 レクリエーション協会 登録者数752人 事業参加人数20人 障がい者スポーツ指導者連絡会 登録者数12人 事業参加人数108人 スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会、障がい者スポーツ指導者連絡会でそれぞれ事業を展開、各種大会、講習会、教室等を実施しました。									
(スポーツ課)	成果状況/達成度評価									
	(状況)スポーツ団体登録者数は、初期値(8,378人)と比較して、18.0%低下しました。 (要因)新型コロナウイルス感染症による外出する機会の減少、少子高齢化によるスポーツ少年団団員数の減少、スポーツ・レクリエーション団体の登録者の減少が挙げられます。スポーツ愛好者同士のコミュニティづくりは市民スポーツを推進するうえで、重要な要素と考えていますので、登録者数の増加につながるように、今後もスポーツ団体等の支援を継続します。									

No.	学識経験者の意見	意見に対する回答【回答課】
1	<p>スポーツに関してもコロナの制限が大きく、R3年度の達成状況は十分でなかったのはやむを得ないと思います。今後も感染防止を第一に図り、できることから進めていただきたいと思います。</p> <p>前期計画の当初から高い数値で達成しているので、目標値が他の施策に比べて低めの設定ではないかと感じました。今後計画を見直す際に、目標値の妥当性を検討していただきたいと思います。</p> <p>ウォーキングやランニング、散歩をしている方を多く見かけます。生涯スポーツ・健康志向の高まりの表れだと思います。ペットを連れている方も多く、様々な運動の機会を楽しんでいると感じます。</p> <p>以前は、「長寿を祝う会」で「健康体操」に取り組んでいました。会自体が中止になって行われていませんが、とても良い取組だと思いました。他課とも連携した様々な取組を展開していけたらよいと思います。</p>	<p>今後も、感染症対策等を施しながら、事業を進めてまいりたいと考えております。また、目標値についてですが、後期計画において見直しを行います。</p> <p>市民の健康志向の高まりに合わせ、ウォーキング講座やノルディックウォーキング体験会ほか「いつでも・どこでも・だれでも」参加できるラジオ体操にも力を入れ、市民ラジオ体操会やNHK テレビ・ラジオでご活躍中の講師を招いたラジオ体操講習会等実施しており、今後も、他部署と連携を図りながら、市民の健康増進にも貢献できる事業を展開したいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>
2	<p>不具合による利用支障件数0件は、素晴らしいと思います。日頃の安全点検がしっかり行われているためと思います。今後も維持管理に努めていただき、より活用しやすい施設となるようお願いいたします。</p> <p>利用者のマナーアップやケガ防止等への啓発はどのように取り組まれているのでしょうか。</p>	<p>施設の老朽化が進んでおりますが、市民が利用しやすい施設管理を心がけるとともに引き続き日々の点検をしっかりと行ってまいります。</p> <p>また、利用者への啓発については、施設内の見やすい掲示物の作成や窓口での声かけ等を行い、マナーの向上と事故防止に努めております。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>
3	<p>指導者・団体の育成と活用について、数値の激減から、深刻な状況であることを改めて確認しました。中学校の部活動も外部指導者に移行を考えているところかと思えます。実現は難しそうです。より積極的な対策を講じてほしいと思います。</p>	<p>少子高齢化や共働き世帯の増加による指導者の減少は大きな課題と考えております。各団体と連携を図り、SNS等を活用し、団体の活動PRを積極的に支援し、スポーツ人口の増加による指導者の育成に繋がるよう支援してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>

4	<p>新型コロナウイルスの影響で中止されてきたイベントも多い中で、ここ最近では再開する動きも出てきました。今後の中止や延期の判断のポイントはありますか。</p>	<p>イベント開催時期に想定される感染者数を直近の感染推移等により考慮した上で、国や県が発出する行動制限等の措置、市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の決定事項、関係機関の意向及び参加状況等を総合的に勘案して判断いたします。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>
5	<p>スポーツの振興については、コロナ禍の影響を受けながら週1回スポーツをする市民の割合が上回っていることは、評価できる結果です。健康志向が高まる中、スポーツに関心の低い世代の健康づくり施策を期待します。</p>	<p>「いつでも、どこでも、だれでも」行えるラジオ体操や軽スポーツ等の普及推進や感染症対策をした魅力あるイベント等で、スポーツに関心の低い世代の方々の身体を動かす動機付けとしての事業展開を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>
6	<p>スポーツをする機会の提供については、コロナ禍で市民の安心安全を考慮してイベント等が中止となり、数値が下がったことはやむを得ないことです。今後、市民体育祭は、自治会の高齢化に伴い競技内容の見直しを図るよい機会ではないでしょうか。市民が求めているニーズにあった市民体育祭となることを期待します。</p>	<p>第58回市民体育祭では、従来の競技性種目のほか、ニュースポーツ等の体験エリアや幼児子どもが気軽に参加できる遊具の設置等を検討いたしました。新型コロナウイルスの影響によりやむを得ず開催中止となりました。今後も、市民のニーズに応じた企画が実施できるよう実行委員会で検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>
7	<p>スポーツ施設の設備と有効活用について、鴻巣市のスポーツ施設は他市に比べてかなり施設数が充実していると思います。市民アンケートでも毎年満足度が向上し、不具合による利用支障件数も0でした。引き続き維持管理ができるよう努めていただければと思います。</p>	<p>市民が施設を有効活用していただけるよう各施設の窓口等で案内し、利用の充実に繋がります。また、皆様に満足して頂けるよう引き続き施設の維持管理に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>
8	<p>指導者・団体の育成と活用については、コロナ禍で多少の減少は仕方ないと思います。指導者の導きにより子どもたちの成長は大きく左右されます。スポーツ指導者の育成等を図り、指導者の資質向上を期待します。</p>	<p>団体へ指導者として登録いただくよう活動等の積極的なPRを支援するとともに、研修等を通じた指導者の資質向上により、長期的に指導者として活躍できる環境を整備してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ課】</p>

施 策	4 人権尊重の推進
------------	------------------

施策の対象	市民
--------------	-----------

施策の目指す姿	市民がお互いの人権を尊重しあい、共に生きる社会が形成されています。
----------------	--

成果指標	単位	初期値	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3	成果
		(H27)							目標値	
人権が尊重されている社会であると思う市民の割合【市民アンケート】	%	61.2	61.5	60.7	56.6	65.8	60.7	62.9	65.0	○
	3年度の主な取組 ・集会所利用者及び関係団体を対象とした人権啓発研修会を開催し、人権教育を推進 ・集会所において各種講座を実施し、人権講話や人権啓発DVDの視聴、また参加者の交流を通して人権問題に対する理解、認識の向上と人権感覚の高揚を促進 ・人権作文、人権文集の作成及び配布 ・教員を対象とした人権教育研修会の開催及び各研修会への参加 ・各学校における人権教育研修会の推進									
(生涯学習課)	成果状況/達成度評価 (状況)人権が尊重されている社会であると思う市民の割合は、初期値(61.2%)と比較し1.7ポイント増加しています。 (原因)成果が向上した要因としては、人権啓発リーフレットの活用や各種人権啓発研修会等の実施により、人権意識の高揚が図られたことが挙げられます。									

●教育委員会の自己評価

1.お互いの人権を尊重しあい、共に生きる社会が形成されることが、人権尊重の推進の目指すべき姿であり、自分の権利と同様に他人の人権を尊重する人権感覚を養うことが求められています。人権教育・啓発は、家庭、学校、地域社会、職域など、様々な機会を通して実施することで効果を上げるものであり、R3年度につきましては、集会所講座における研修や講演会等の実施により、本施策の成果指標：人権が尊重されている社会であると思う市民の割合が、H27年度より1.7ポイント増加しました。「社会人権教育の推進」においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる研修会等の一部中止や、新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見などの人権問題の影響もあり、成果指標：人権を侵害されたと思う市民の割合はH27年度より0.7ポイント増加しました。今後につきましては、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、市長部局(やさしさ支援課)とも連携を図りながら、生涯を通じた人権教育、人権感覚を培う人権教育に努め、市民一人ひとりがお互いが尊重し合い、共に生きる社会が形成されるよう、施策を推進してまいります。

2.人権教育の目標は「自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践行動がとれるようになること」であり、そうした実践行動は、児童生徒に「自分の人権を守り、他者を守ろうとする意識・意欲・態度」が十分育成されたときに実現できるものであると認識しております。学校人権教育の推進において、今後もしじめの防止や人権感覚を育成する人権教育の充実を図るとともに、お互いを認め合える豊かな人間性をもった児童生徒の育成に努めてまいります。

基本事業	1 社会人権教育の推進
-------------	-------------

基本事業の対象	市民
----------------	----

基本事業の目指す姿	一人一人の人権尊重意識の高揚が図られ、人権侵害を受ける方が減少しています。
------------------	---------------------------------------

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
人権を侵害されたと思う市民の割合【市民アンケート】	%	12.8	13.6	12.0	12.0	11.8	12.7	13.5	12.0	×
	3年度の主な取組 ・集会所利用者及び関係団体を対象とした人権啓発研修会を開催し、人権教育を推進 ・集会所において各種講座を実施し、人権講話や人権啓発DVDの視聴、また参加者の交流を通して人権問題に対する理解、認識の向上と人権感覚の高揚を促進									
(生涯学習課)	成果状況/達成度評価 (状況)人権を侵害されたと思う市民の割合は、初期値(12.8%)と比較し、0.7ポイント増加しました。 (原因)成果が向上しなかった要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる研修会等の中止や新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見などの人権問題の影響が考えられます。									

基本事業	2 学校人権教育の推進
-------------	-------------

基本事業の対象	児童生徒
----------------	------

基本事業の目指す姿	お互いに相手の立場を認め合える豊かな人間性を持った児童生徒が育っています。
------------------	---------------------------------------

成果指標	単位	初期値 (H27)	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	R3 目標値	成果 状況
相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる児童生徒の割合【学校アンケート】	%	91.4	86.9	87.9	87.5	87.5	88.1	87.6	93.0	×
	3年度の主な取組 ・全小・中学校の児童生徒を対象に「ありがとう」「心に残る言葉」をテーマとした人権作文の作成 ・人権文集「人輝く言葉」の作成及び市内全小・中学校の児童生徒への配布 ・管理職(校長)、人権教育主任等を対象とした人権教育研修会の開催(各1回) ・人権教育の指導に当たっての留意事項について全教職員に対する指導 ・人権教育授業研究会の実施と教職員に対する指導 ・各学校における人権教育研修会の推進									
(学校支援課)	成果状況/達成度評価 相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる児童生徒の割合は、初期値より3.8ポイント低下しました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、体験的な学習・集団での学習が制限されることが多くあったことが、原因の一端であると考えます。今後とも、新型コロナウイルス感染症の予防対策に努めながら、体験的な学習・集団での学習に積極的に取り組むとともに、人権教育に関わる教職員研修及び各学校における人権教育の充実に取り組んでまいります。									

No.	学識経験者の意見	意見に対する回答【回答課】
1	<p>いじめ・虐待・貧困・LGBTs・インターネットによる人権侵害等、新たな人権課題も加え、関係各方面と連携して人権意識の向上に取り組んでいただきたいと思います。社会人権教育・学校人権教育における教育・啓発はとても大切だと思いますが、他課と連携した取組（人権課題への組織的対応ができるシステムの構築など）も周知していく必要があると思います。</p>	<p>多様化する人権課題に対しましては、各課の単独での取り組みには限界があると考えております。教育委員会では、生涯学習課と学校支援課で連携して対応しておりますが、市長部局の人権施策を所管している総務部やこども施策を所管しているこども未来部等とも連携し、各部署が持っている知識や情報を共有し、人権課題に対し、組織的に対応しております。このような組織体制で取り組んでいることについて、市民に周知していきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】 【学校支援課】</p>
2	<p>学校の取組（人権教育研修会など）がアンケート対象の市民にどれだけ伝わっているのかと疑問に思いました。市民に成果を評価してもらうにあたって、事業の取組を周知する必要があるように思いました。また、「相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる児童生徒」とは市民はどのような場面で評価しているのか、またそれは本事業内容を反映したものととらえてよいものか等、市民アンケートという評価方法や指標は適切なのか、検討していただきたいと思います。</p>	<p>本事業は「学校人権教育の推進」であり、事業対象が「児童生徒」となります。目指す姿は「お互いに相手の立場を認め合える豊かな人間性を持った児童生徒が育っています」としており、児童生徒の人権文集の取組、管理職・人権教育主任を対象とした研修会等を、継続的に行っております。よって、評価方法は「埼玉県学力・学習状況調査」の児童・生徒質問紙調査を活用し、指標は「相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができていますか」という質問項目をもとに設定しております。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】 【学校支援課】</p>
3	<p>集会所で各種講座が開催されているが、人権をキーワードにしながら、いい講座についてはより多くの方々が参加できるように広報活動を積極的に行ってほしい。</p>	<p>人権教育集会所では、より多くの方に人権について考えていただく機会の提供を目的に、人権教育研修会や講座を開催しております。これらの事業につきましては、多くの方に参加していただけるように、魅力ある研修会及び講座の企画を考え、広報や市 HP 等を活用し、積極的に PR を行っていきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】</p>

4	<p>学校における人権教育については、コロナ禍を経て、ネット社会がさらに広がる中で、新たな視点が必要になると思います。学校だけではなく、保護者を巻き込むことも必要ではないでしょうか。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、1人1台学習者用端末が全児童生徒に貸与され、新たな学びが進むとともに、情報に対するマナーやモラルを育むことが重要であり、学校・家庭が連携、協力することが不可欠であると考えております。各学校においては、学習者用端末貸与にあたっての保護者の同意書、デジタル・シティズンシップ教育の推進等により、家庭との連携、協力を図っているところです。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>
5	<p>学校人権教育の推進については、豊かな人間性をもった児童生徒が育つよう、育成に取り組んでほしいと思います。「ありがとう」の感謝の気持ちを持ち合わせた“のすっ子”の笑顔が増えることを期待します。</p>	<p>学校における人権教育の推進は、全教育課程において組織的・計画的に行われるものであり、各校においては人権教育全体計画などをもとに、着実に教育活動が実施されております。今後とも、鴻巣市の児童生徒の豊かな人間性を育み、感謝の気持ちを醸成するよう、努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【学校支援課】</p>

■全体を通じての総括的な学識経験者の意見と意見に対する回答

No.	学識経験者の意見	意見に対する回答【回答課】
1	<p>たくさんのデータの集積・分析、お疲れ様です。評価結果をぜひ翌年度に生かしてほしいと思います。実施年度の翌年度末に議会提出・公開というスケジュールでは、実績〔または反省〕が反映されるのは早くても翌々年度になります。年度内に各部課で総括され、見直しが図られているのでしょうか。規則上やむを得ないのかもしれませんが、評価が形骸化していないかと感じました。数値は更新されたものの成果状況／達成度評価がR 2年度の報告書と変わらない事業が多くあります。</p>	<p>点検・評価の結果及びいただいた御意見を生かし、翌年度以降の教育行政の運営に取り組んでまいります。</p> <p>教育への取組は、事業の結果が直ちに現れるものばかりではありませんが、引き続きより良い教育行政の推進に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【教育委員会】</p>
2	<p>教育委員会として4つの施策と15の基本事業に基づき、しっかりと取り組まれていると感じました。これからも児童生徒が将来も鴻巣に住み続けたいと思うような環境を整えていただけるように、期待します。</p>	<p>今後も各施策・基本事業の目標値達成に向けた取組を実施し、児童・生徒の将来を見据えた教育環境の整備を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">【教育委員会】</p>

V 結びに

「教育委員会の事務に関する点検・評価」は、冒頭で述べたように「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、平成20年度より実施しています。今年度の点検・評価は、第6次鴻巣市総合振興計画前期基本計画(平成29年度から令和3年度)の令和3年度の取組を対象といたしました。

成果状況については、半数以上の指標が、平成27年度の基準値を上回り、設定した目標値に向けて推移している一方で、残りの指標は、進捗状況が思わしくない状況となっており、それらの指標の施策については、具体的な取組状況や指標の達成状況をしっかりと把握するとともに、施策の成果と課題を明らかにしながら、効果的な工夫・改善に取り組んでまいります。

教育への取組は、事業の実施や予算の投入が直ちに結果となって表れるものばかりではありません。また、その成果を具体的に数値化することが難しい上に、時間がかかる取組も数多くあります。しかし、教育委員会といたしましては、今後とも実証的に成果を検証する観点から、この点検・評価の結果及び学識経験者からいただいたご意見・ご提言を生かし、課題の解決に向けた効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

なお、本報告書につきましては、市議会に提出するとともに、市のホームページにて公表いたします。

最後に、今回の教育委員会の事務の点検・評価に当たっては、その客観性を確保するため、次の学識経験者の方々に、ご意見・ご提言をいただきました。心からお礼申し上げます。

令和5年1月10日

いち かわ えい こ
市 川 栄 子 元鴻巣市立小学校長

よし だ ひろ き
吉 田 大 樹 鴻巣市PTA連合会会長

ち ば あき よ
千 葉 晃 代 鴻巣市スポーツ協会

(敬称略)

VI 用語解説

用語	説明
いきいき先生	会計年度任用職員として教育活動の補助・支援を行う職員のこと、令和3年度は市内小・中学校すべてに55名配置しています。
特別支援教育指導員	会計年度任用職員として特別支援学級の教育活動の補助・支援を行う職員のこと、令和3年度は特別支援学級が設置されている市内小・中学校23校に57名配置しています。
日本語指導員	会計年度任用職員として市内小・中学校に在籍している外国籍の児童生徒への支援を行う職員のこと、令和3年度は市内小・中学校5校に3名配置しています。
学力向上支援員	会計年度任用職員として市内小学校の算数の授業に重点をおいた支援を行う職員のこと、令和3年度は市内小学校に8名配置しています。
学校応援団	保護者や地域住民による学校の教育活動を支援する組織のこと、市内小・中学校すべてに設置されています。
鴻巣市「のすっ子宣言」	平成28年7月、鴻巣市未来議会において、子どもたちが日常生活の中で自ら実践する行動指針として提案・採択された宣言のことです。「自分から笑顔であいさつします」など、6つの宣言があります。
埼玉県小・中学校 学力・学習状況調査	小4～小6の国語・算数、中1～中3の国語・数学、中2と中3の英語を対象に行われる県内一斉の調査です。毎年4月に実施しています。
プリントデータベース	市教育委員会が、学習プリント等を学年や教科にわけて、パソコン上に整理し、各学校で自由に閲覧・活用できるようにしています。
大学生学習ボランティア	教職を目指している大学生を募集し、学校で児童生徒の学習や学校行事、部活動などへの支援を行うことで、実際の教育現場を知ってもらう機会としています。令和3年度は市内小・中学校11校に13名配置しています。
新体力テスト	50m走やボール投げなどの測定を毎年全学年で実施し、体力・運動能力を調査しています。

鴻巣市「のすっ子宣言」



わたし
私たちは、(の)びのびとした心こころをもち、

(す)こやかな体からだをつくり、

(つ)まずいてもくじけない

のすっこ(子)をめざし、宣言せんげんします。

一 自分じぶんから笑顔えがおであいさつします。

二 お互たがいを認めみとめ、助け合たすいます。

三 健康けんこうな心こころと体からだをつくります。

四 学校がっこうもまちもきれいにします。

五 鴻巣こうのすの文化ぶんかを「守まもり・伝つたえ・広ひろめ」ます。

六 自分じぶんから学まなび、夢ゆめを咲さかせます。